

アボミ・カラヴィ地方
ゴドミー行政区
ン・グベオ公立小学校のための
2教室とトイレ付の建物の建設
第一作業報告

午前10時にン・グベオ小学校での総会において私達は教師や親代表のみなさんと会いました。挨拶を終えてから契約が朗読され、翻訳され、説明されました。質疑応答がおこなわれ、在席のみなさんはこの契約に賛成の意を表しました。建築予定地を見に行きました。地面は足で踏むと水浸しになっているのが分ります。つまり、堅固な建物を建てるには、特別の施策を講じなければならないという事でした。建築資材の置き場として、親代表会長が、学校のすぐ近くにあり、現場までの輸送が簡単である、彼の家を提案しました。セメントは校長先生の事務所に保管されることになりました。作業員は教室のひとつに寝泊りすることも出来ます。

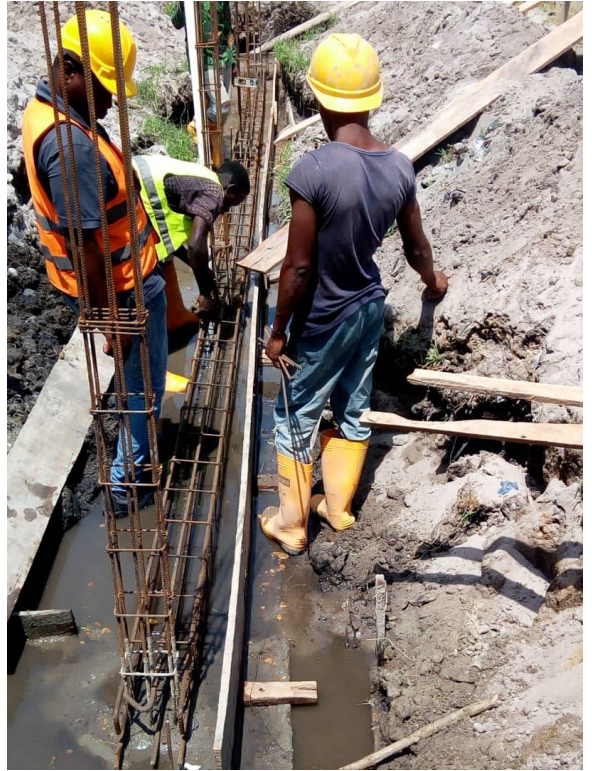
建築資材が輸送される間に、現場に糸引き作業を行いました。



掘り起こしは非常に困難な作業となりました。というのは掘り上げた泥がすぐに溝に流れ入るからです。この日何度も水を汲み上げねばなりませんでした。



基礎の溝からしてすでに、壁を据え付けないと水で崩れてしまいます。



基礎が水で動くときに、基礎が破壊されないために、鉄材 14 号を使って基礎固めを補強してセメント固めをしました。その上に基礎の壁が造られて行きます。



下の鉄芯が置かれ、板枠が添えられ、セメントが流されました。すると建物の壁はすぐに窓枠のところまで伸びて行きました。



小さな鉄芯が置かれ、セメントが流されます。



ベランダには柱用の板枠が据えられセメントが流されます。



鉄筋工が上の鉄筋を建物の前部へと曲げていた時、空が割れて大雨が降り出し作業は中止となりました。



上部の鉄芯には一時に、セメントが流されました。その上に壁はレンガ4個分高くなりました。



4本目の鉄筋コンクリートが屋根の下のところに流され、その上に破風が造られて行きます。最後に柱の端がカバーされ、セメントが流されます。



壁が乾燥する間に、入口の階段が据え付けられ、建物の中を砂が満たします。



11月の半ばに屋根の仕上げを開始することができました。黒檀材を購入し、それを切断してもらいました。材木は現場に運ばれ、すぐに作業が始まりました。



最後に屋根板が設置されました。



ご支援の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、
2023年がよい年になるよう祈っております。

